

委員会のうづき

総務 教育

常任委員会

浮津に町内2カ所目の避難集会所



委員長 宮川 徳光
みやがわ のりみつ

●町立避難集会所の設置
及び管理に関する条例の
一部改正

浮津に町内2カ所 目の避難集会所が

本町で2つめの避難集
会所となる浮津避難集
会所の完成に伴い条例に追
加するもの。

この避難集会所は、津波
浸水区域外に建設するこ
とで、避難と防災活動に
役立てるというもの。



上：1カ所目の田野浦避難集会所
下：2カ所目の浮津避難集会所



委員より、建設場所の
海拔高や施設の規模、建
設費用、今後の設置計画
についての質疑があり、
執行部より、海拔は20m
ほど。施設規模は、敷地
面積が480・51㎡、木
造平屋建て104・11㎡
で、広間の他、台所、ト
イレ、シャワー室を備え
ている。

浮津避難集会所の建設
費用は2950万円ほど
で、その内、2分の1が
国の都市防災総合推進事
業で、地域の負担として
10%を、残りを町が過疎
債と合併債を起債して充
当している。なお、土地
は町が購入している。

今後の計画としては、
現在、出口地区で計画
中のことだった。

※17Pに関連記事「現地
を見に行きました」が。

令和2年度一般会計補正予算

飛沫感染防止用の 間仕切りを配備

■避難所環境整備備品

2541万円

学校等の体育館などの
大規模な避難場所の10カ
所へ、飛沫感染防止を考
慮して、感染症対策の間
仕切りを1449基、救
護スペース用間仕切りを
20基の合計1469基と、
この間仕切り自体の収納
倉庫もそれぞれ1個を配
置するもの。

教育ローンの

利子補給を追加

■負担金補助及び交付金

288万円

この利子補給について
は、9月の一般会計補正
予算で240万円補正し
たが、その後、協議を重
ねる中で、町内に支店の
ある金融機関だけでは全
ての在学中の学生の経済
的な負担の軽減にはつな
がらないとなった。

このため、黒潮町に関
係の全ての学生を対象と
した制度について考え、
教育ローンの利息の支払
いの負担の軽減を図るた
めの追加補正としている。

288万円の根拠は、
金融機関から聞き取りし
た平均の利子額から、利
子の年額を24000円、
在学中の大学生を推定2
20人分として528万
とした。この内、既決の
予算が240万円なので、
差額の288万円を計上
したもの。

委員より、この利子補
給の対象者は、また、在
学中の大学生が推定22
0人の根拠はとの質疑が
あり、執行部から、対象
者は、教育ローンを利用
している中学生から大学
院生まで。大学生を22
0人としたのは、平成22
年から28年の中学校卒業
生が630人で、年平均
の90人に4年を掛けて3
60人として、この数に
おおまかな進学率を60%
として算出したものとの
ことだった。